

イタルダ活動報告

自動車技術会から研究員が感謝状の贈呈を受けました。

ITARDA では、所属する研究員による自主研究のほか、関係団体との研究・検討会、各種プロジェクトへの参加など、多方面から交通事故の削減及び被害の軽減に向けた活動を推進しています。

自動車技術会では、先進交通事故自動通報(AACN)の傷害予測アルゴリズムに関する国際標準化活動の成果として、2025年7月、ISO/TS 4654*「傷害予測アルゴリズムの作成および評価に関する手法を定める技術仕様書」を発行しましたが、その活動功労者の選出にあたり、プロジェクトリーダーとして活動してきたITARDA主任研究員 木内 透が選出され、自動車技術会から感謝状の贈呈を受けました。

※ 今後、学会誌「自動車技術 4月号」に掲載予定

☆ ITARDA では、独自に特定の事故例調査を行っており、各種データを活用した分析・研究に役立たうえて、広く国民に向けた研究の成果を公表しています。

今後もITARDAの調査活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。

